

向陽

〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL(088)833-4394 FAX(088)833-7373

<http://www.tosaobog.com>



東京六大学野球 土佐高OB指揮官対決

平成26年9月14日付 高知新聞より

東大の浜田一志 監督 (58回生)

池上武雄 理事長

慶大の髙多倫正 監督代行 (47回生)

九月一三日、久しぶりに神宮球場を訪ね、東京六大学野球秋季リーグの開幕第一戦、東大対慶大を観戦しました。史上初の土佐高OBによる「監督対決」を期待を込めて応援しました。東大は長く続く連敗からの脱出を、慶大は春秋連覇の期待がかかる開幕戦だけに、神宮球場では数多くの土佐高同窓生の懐かしいお顔を拝見することができました。

試合開始前の挨拶、両軍ベンチ前に整列した慶大髙多倫正氏(47回生)、東大浜田一志氏(58回生)の雄姿に思わず涙しました。さぞかし故籠尾良雄先生も喜んでおられることと胸が一杯になったからです。

そして、戦後郷土出身の前田祐吉氏(現追手前高卒)を始めとして、永野元玄氏(29回生)、岡村甫氏、福岡啓助氏(共に32回生)、大橋勲氏(34回生)、濱村巖氏(35回生)、片山直久氏(38回生)に続いて籠尾先生の教え子達が続々とこの神宮球場で見事な活躍をされたことが走馬燈のように思い浮かんでまいりました。

また、スタンドで練り広げられる応援活動も、神宮球場の目玉として大いに人気がありました。近年チャ・リナー達の活躍振りが目覚しく、東大運動会応援部にも都築雅乃さん(88回生)が活躍されているとのこと、唯々隔世の感と逞しさに感じ入った次第でした。

懐かしい神宮球場

学校法人土佐高等学校

理事長 池上 武雄

(28回生)

奮闘の秋季リーグ

高多 倫正 (47回生)

慶應義塾大学野球部竹内秀夫監督（慶應で同期・目下療養中）の代行（助監督）として、東京六大学野球リーグ戦で母校を指揮するようにとの要請を受け、今年の秋の1シーズンに限り、その任に当たることになりました。土佐高校を退職してからの3年半、野球とは縁のない生活を送っていましたので唐突な要請に戸惑いましたが、シーズン開幕前月の8月から上京して大学野球チームの現場での指揮を執っています。この原稿を執筆中の現在（10月26日）チームは勝ち点3の2位に付け、後は早慶戦（11月1・2日）を残すのみとなりました（東大☆☆☆、立教★☆☆、法政☆☆☆、明治☆☆☆の6勝3敗）。第7週（全8週）の明・立戦の結果次第ですが、春秋連覇に一縷の望みを繋いでいる状態です。

9月初旬の開幕戦では、浜田一志監督（57回）率いる東大との対戦がありました。このことは高知でも報道がされたのですが、同一高校出身者の指揮官による対決は六大学史上でも稀なことだったようで、在京の記者の間でも話題になっていました。勝利に向けて闘志満々の浜田監督率いる東大に2回戦では本塁打も浴びて4失点となりましたが、この難敵を何とか降すことができました。先輩思いの浜田監督とうもありがとうございしました。貴兄の勝利への強い信念は、来シーズン東大旋風として必ず爆発することでしょう。一方、慶應の野球部は194名（含む学生スタッフ・マネージャー）を数えリーグ最多です。1学年平均約50人の部員が、講義の合間を縫って入れ替わり立ち替わりグラウンドに現れ、3〜4組編成で1日中切れ間なく練習を行っています。厳しい現実のなかで本校出身の伊

藤大輝君（2年）、森下貴裕君（1年）の両君も揉まれに揉まれ、逞しさと存在感を次第に増してきています。



頑張る彼らが池上武雄理事長を草分けとして、多くの本校卒業生が染いてきた慶應野球部での確固たる水脈を必ず受け継いでくれるものと確信しています。

強い意志と妥協のない努力を、文武両面で高度に実践する多くの若者たちの真摯な生きざまに日々接するにつけて、そして彼らとの日常のコミュニケーションを通して、この現場では学生野球の真価とは何なのかを改めて考えさせられます。監督代行といっても片時も思考を停めることも、気を抜くこともできません。

思えば今から42年前、浪人中の私に慶應進学を勧めて下さった籠尾良雄先生のひとことから始まり、このようなチャンスに邂逅させて戴きました。そのご恩に少しでも報いるためにも、週末の早慶戦に全力を注ぎ、残りの任期を全うしたいと考えています。明治の皆さん！必ず2勝1敗で立教に勝ち私たちにもチャンスを与えて下さい。

（平 26年10月26日記）

監督雑感

浜田 一志 (58回生)

東大野球部の監督に就任して2年が経ちました。土佐ゆかりの方々からたくさんエールをいただきありがとうございます。学生たちと野球ができる喜びと連敗中の悔しさが交差する日々を送っております。

東京六大学野球は大正14年（1925年）に始まり、今年（2014年）秋で89周年。今年は昭和89年なので、六大学は昭和とシンクロして時を刻んでいます。そういえば、土佐高の卒業回数も昭和とシンクロしています。そのような89（やきゅう）の年に、慶應大学の高多監督代行と土佐高出身指揮官対決ができたことは私にとって感慨深い思い出になりました。試合前、監督、コーチ、マネージャーはベンチ前に整列してあいさつをします。そのとき、神宮球場にいながら土佐高のグラウンドであいさつしたことをふと思ひ出しました。試合中は、なんとか一泡吹かせてやろうと集中していましたが、結果はコテンパンにやられました。出会いは高校1年（昭和55年）の秋、土佐高のグラウンドです。練習前にベンチをホウキで掃いている人を発見、住友金属（現新日鐵住金）野球部のユニフォーム姿だったので、すぐにOBだとわかりました。「こんにちは、掃除」代わりました。「このあいさつを35年後に神宮球場で思い出すとは。高多先輩は、当時最新のトレーニング方法を伝授してくれました。ストレッチ体操とアポロ・エクセサ

イザー（筋トレの機器）でした。今でこそ、ストレッチは当たり前ですが、当時はグラウンドに寝ころがって休憩しながらやるなんてサボっているんじゃないかと言われました。肩を壊してボールが投げられなくなっていた私は、それらに夢中になり完治、野球を続けることができました。

現在、東京六大学野球には土佐高出身の選手が6名在籍しています。伊藤大輝君（慶應）、森下貴裕君（慶應）、直原大典君（早稲田）、高木一史君（東大）、三谷啓介君（立教）、藤崎純平君（立教）、土佐高関係者のみなさま、彼らの応援もよろしく

お願いします。お待ちしております。

都築雅乃さん (88回生)



2014 ホームカミングデー

日時／平成26年 8月16日(土) 12:00～

講演会

筆山ホール講演会 高知県の学校教育とその行方？



花束贈呈：坂本(社)慶子さん(44回生)

中澤 卓史 氏 (45回生)

中澤君の講演は、大怪我のため高3を2回経験し、44回生と45回生を仲間を持っているというプチ自慢と、今回の講演について世話役の44回生からの依頼であったが、候補者二人に断られたので「おまんじゃ」とちょっと失礼な依頼であったというプチ不満で始まった。

演題は、通算6年間、彼が心血を注いだ「高知県の学校教育とその行方？」。抑えたタッチの中に熱い思いが感じられるとても良い内容で、私の周りは大絶賛でした。

ところが最後の質疑応答の時。最初に手をあげたのは44回生で「講義の中にミンドという言葉が3回出たが、意味がよわからん…」でした。私は、まじか？ギャグ？と思いました。中澤君は黒板に「民度」と書き「調べや」とやや冷たい反応でした。

ただ、このやり取りがあった瞬間、急に私の胸が熱くなって、64歳のジジが高校時代の教室にタイムスリップしました。「そ



うそう、こんな感じで授業を受けよった」。ホームカミングデーは初参加でしたがとても素晴らしい時間が過ごせます。皆さんも是非。

長瀬 順一 (44回生)



着物講演 和装業界から見る日本文化のいま



一昨年高知に帰って来て2年目でホームカミングデーの企画年次(本年は4の会)が回ってきた。64回生からは、ごぶく美馬の美馬勇作君に講演してもらうこととなった。講演会場は土佐高が誇るお茶室「向陽庵」。64回生は浴衣で参加する者もあり、雰囲気盛り上げるのに一役買った。会場は美馬ファンでいっぱい。入りきらない同窓生のために玄関にサテライト会場を設置した。

美馬 勇作 氏 (65回生)

講演内容を聞いて、美馬君もいろいろなことを感じながら高校生活を送っていたのだなと感心した。また、高校卒業して25年が経つが、いつの間にかすっかり大人になっているのだと気付かされた。

土佐校の先輩後輩は、偉ぶらず同じ目線で話してくれるので、実に心地の良い会である。来年もこの会に是非参加したいと思う。



斉藤 章 (64回生)

特別授業

クラスマッチの思い出 ～熱血ハンドボール！

酒井 満 氏 (前土佐中・高等学校教諭)

ホームカミングデーの記念授業が酒井先生に内定し、先生の携帯に打ち合わせの電話を入れたところ、いつもの記念授業と違い教室は使わず、“体育館でハンドボールやるぞ”との事、もちろん体育の先生なので当たり前なのですが、おそらく初めての体育の実技授業となりました。

体育なので当然シューズやウェアが必要なので、どれくらいの参加者が集まるか心配してましたが、当日は老若男女、20代からたぶん還暦近くの方まで20数名、2チームがそれぞれ交代しながらゲームできる人数が集まりました。そして大観衆にも大きな声援を送ってもらい、体育館はひとつになり本気の授業になりました。



54回生のH山君などは着の身着のまま、おまけに裸足で参加して最後まで走り回ってくれました。足の裏大丈夫だったのでしょうか？ハンドボールの魔力ですね。

土佐中高校時代“この人だけには逆らわれん”と思っていた酒井先生、相変らずの存在感と迫力は変わりませんでした。今回の記念授業、やはり先生の“体育館でハンドボールやるぞ”は大正解でした、本当にありがとうございました。



最後に、いつかホームカミングデー記念授業で体育実技を行うことがあれば、携帯酸素ボンベは必需品ですでお忘れなく。

安並 寛明 (54回生)



よっとうせ ちくと寄席 in 土佐校

大野 沙耶花 氏 (84回生)



ホームカミングデーは初めての参加で、いきなり実行委員に。何も分からず、至らぬ点ばかりでしたが、なんとか「花の家こなつ」こと大野沙耶花さんによる「ちくと寄席」の開催にこぎ着けることができました。大野さんの素晴らしい寄席が終わった後の熱い拍手には、こみ上げるものがありました。笑いヨガでは、観客のみなさんが積極的に参加し、会場全体が笑いに包まれました。最後は参加者みんなで円になり、校歌を熱唱したのですが、その形はまさしく校歌にもあ



84回生の仲間たち(中央左 岡内会長)

る協力一致の姿をあらわしたもので、改めて、土佐校の強い絆を感じ、感動いたしました。これからも、土佐校のつながりを大切にし、続けていきたいです。



小松 尚生 (84回生)

集まれ子どもたち 「科学お楽しみ広場」

土佐中高 物理部



ホームカミングデー、『科学お楽しみ広場』の物理部の催しについて率直に申しますと、全体としてはかなり良くできたと思います。子どもから大人まで幅広い方々に越しいただき、私たちも楽しい2時間となりました。

物理部の活動はその特性上、基本的に思い通りに事が進まないのですが、今回は潤滑に物事が運ばれていったという印象です。

反省点は、「実験で人を引き付ける力」が十分ではなかったということでしょう。人気の高かった「綿飴制作」の実験が序盤からトラブルに見舞われ、復日完了が残り30分程になってという事態はあったものの、岡田先生の「スライム製作」に観客のほぼ全員が奪われてしまったという事実に敗北感でいっぱいでした。今後はやはりこういう力も少しずつ磨いていかなければと感じた瞬間でした。

最後に、「科学のお楽しみ広場」に越しいただいた皆様、そしてこの活動にご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

土佐高校1年Tホーム 物理部部长
片岡 雅基





土佐高体操

田村 欣久先生 (75回生)



2014ホームカミングデー実行委員会「4の会」

実行委員長 坂本 高明 (44回生)

本人の意思は別にして、「4の会」実行委員全員の拍手により、あれよあれよと言う間に実行委員長を拝命することとなりました。新校舎の様子すら知らないような自分に務まるのか不安が募りましたが、実行委員、本部役員、当日スタッフ等の皆様方のご尽力により、大役を果たすことが出来ました。また当日スタッフを快く引き受けてくれたり、「せめて懇親会だけでも」と駆けつけてくれた44回生の同級生たち等々…ご協力頂いた皆様方、ホームカミングデーを成功裏に導きいただき、本当に有難うございました。

ホームカミングデーを通して感じたことは、「土佐校」の名のもとで、すぐ一つになり、何の壁もなく語り合え、行動し、また酒を酌み交わせる…えも言われぬ連帯感の強さです。改めて母校の存在の大きさを認識し、誇りを感じる事が出来ました。まさにホームカミングデーの真髄を見た思いです。感謝です。 来年の「5の会」の皆様方の成功を祈ります。

来年のホームカミングデー 2015年8月15日(土) 開催予定

窓会開催しました!

卒業50周年



卒業50周年記念 同窓会

宮村 憲章(39回生)

初夏の風渡る5月13日、高知市のサンライズホテルには39回生たちが続々と集まってきた。卒業50周年記念同窓会だ。県内外から馳せ参じた友は90人中には卒業以来という者もいたが、互いに名乗り合えば、たちまち50年の歳月を飛び越えるのは同窓会ならでは。クラス担任の一人、古谷俊夫先生が今なおかくしゃくとしてご臨席下さったのも嬉しいことである。

亡き友への黙祷、参加者全員の紹介、記念撮影と進み、やがて席が乱れるようになれば一段とボルテージもあがる。土佐の呑んべえたちが杯を干すのも忘れて思い出話に花を咲かせ、呵々大笑する。女性たちが加われば、嘘か真か、50年目の告白も。

それにしても、この50年という春秋をどう振り返ればよいのだろうか。例えば卒業式。私たちは校内にジフテリアが発生したため、会場をはりまや橋の土電ホールに移しての式だった。卒業一、三十年は、その話をすれば、「おお、あの時の卒業生か」と膝を打って思い出してくれた恩師たちも多くが鬼籍に入られた。土電ホールも今はない。

だが、何よりも50年を雄弁に語るのは、会場に貼り出されたモノクロの卒業写真だろう。悪童たちが神妙な顔

をしてレンズに収まっている。この時代、一人一人に大きな夢や希望があった。まさに往時茫茫と言うべきか。

楽しい時間は過ぎやすい。やがて次の同窓会は、という話になる。記念と銘を打てば卒業60年だろうが、会場からは「次の10年はきつい」という声も出て、55年という案も。55年にしろ60年にしろ、一人も欠けることなく再会することを誓い合つて、名残り尽きせぬ宴をお開きとしたことである。



卒業50周年



卒業50年、ドタバタと「祭りの準備」

土佐40会会長
鍋島 康夫(40回生)

今では追憶の彼方にしか存在しない旧々校舎を1965年に築立った私たち40回生は、このたび卒業半世紀の節目を迎える。同窓生312人のうち、33人が既に幽明境を異にする。先例に習い、「卒業50年の集い」を企画、龍馬の誕生日・命日にあたる今年11月15日に設定。まず、形式を整えることから準備に入った。

「栄光の40回」を自負する人も多いという。みつともない真似は出来ない。クラス別、地域別に世話が出来るような人を幹事に任命し、アイデアを持っていそうな連中に企画推進委の名をつけて引張り込む。「再会ー18000日ぶりのホームルーム」と、ネーミングまでは肅々と進んだが、満年齢でやるか数え年でやるか、については、甲論乙駁とは言わないまでもひと悶着。「セルモニーはほどほどにして、なるべく語らいの時間を長くとって欲しい」という声と、「せつかくの再会なのに3時間も酒食らうだけは芸がない。楽しませる演出が不可欠」と、対極の要望が届くのはいかにも土佐らしい。

参加者のプロモーションはインターネットと往復ハガキ併用に決めたが、母校訪問希望が結構多い。同窓の山本芳夫校長に頼むとしよう。無関心派

も少なくない。これはマンツーマンでオクルグするしかあるまい。もともと「絶滅危惧種」くらい人数の少なかった40女子の参加を促進するには? 料理は? 2次会は?... 次々とハードルが出現する。

イントロはやはり思い出のフラッシュバックか。アトラクションはどうする。伝説のボーカリスト、町田義人に歌ってもらうのがベスト。だが、彼は、八方手を尽くしたけれど消息不明。次善の策? として、かつてカレッジ・フオーク・グループで世を風靡した「キャッスル・アンド・ゲイツ」残存メンバーによる再結成だ。名前は「勝手に! 平成キャッスル・アンド・ゲイツ」と決めた。

てな調子で、ドタバタと「祭りの準備」は最終段階。果たして本番はうまくいくだろうか。本誌発行時は「答え」が出ている。



伝説のC&Gも「再結成」で大いに盛り上がった40会卒業50年



土佐中・高等学校の思い出

Ⅱレジェンド・マン 感動と挑戦の43年間Ⅱ

前教員 酒井 満

はじめに昭和四十七年四月七日に時間講師として奉職。昭和五〇年専任教諭として採用され四三年間の長い間在職させていただきました。保健体育・ハンドボールを通して先生方はじめ沢山の方々から公私にわたるご指導ご支援をいただき、特にたくさんの方々の可能性を秘めた生徒達と出会い、大過なく楽しい時を過ごさせていただきました。心より御礼申し上げます。(私の母方の祖父・祖母広松政恵・小女が昭和三〇年代に用務員として勤務していましたのが何か縁を感じます)

さて四三年前、身長五尺九寸体重二〇貫きわめて健康で奉職をして挨拶、生徒の心に火をつける授業、クラブ活動、中学は感動、高校では挑戦(受験)、失敗を恐れずに前向きにチャレンジしろ、いつ失敗するのだ。大人になって失敗はダメだといつも指導してきました。

クラブ活動では、ハンドボール部の顧問として、インターハイ・全国中学校大会を目指して、県体会上優勝することに信念を持って全力を尽くしました。

三年目の昭和五〇年の県体でやっと優勝し九年振りのインターハイ出場を果たしました。

初めてのインターハイ出場は、私にとっては一番忘れられない思い出になりました。県体は(高校男子)土佐・幡多農・追手前の三校、決勝リーグでの争いでした。土佐は追手前に五点差で敗れ、

追手前は幡多農に五点差で負けたので、土佐は幡多農に六点点差

以上で勝たなければインターハイ出場への道はないという絶体絶命の窮地に追い込まれましたが、不屈の精神を発揮し、前半は五点差を取りかえし、ハーフタイムで「ここから先は根性ぞ」と檄を飛ばし、後半はリードを広げて九点差で勝利しました。チーム全員感動しました。

山梨県塩山市で行なわれたインターハイでは、一回戦を突破しました。二回戦で敗れましたが私の顧問としての歴史の中に全国大会一勝をきざむことができ、その後につながる自信になり、インターハイ男子一回、女子一回、全国中学校大会男子二回出場させることができました。

その後は顧問を岡山健太郎先生、濱田哲雄先生にバトンタッチをして副顧問として後方から支援しました。現在、ハンドボール部は、岡山先生、濱田先生、川井先生の熱血指導により一〇〇名(高校男女、中学男女)を超す部員数で県のハンドボール界をリードする屈指のチームで頑張っています。

クラス運営は昭和五六年に初めての主任、70回生(来年卒業二〇周年)を主任として初めて卒業させました。そして、特活部長として六年間特別活



土佐高(中)ハンドボール部歌

酒井 満 作詞

- ♪土佐高(中)ハンドのおいらの恋は恋は恋でもボール持って来いだよ
ボールはボールでもおいらのボールはボンと蹴られたノックのボールだよ♪
- ♪土佐高(中)ハンドのおいらの恋は恋は恋でも雨ふって来いだよ
雨は雨でもおいらの雨は練習できないドシャ降りの雨だよ♪
- ♪土佐高(中)ハンドのおいらの恋は恋は恋でもシュート撃って来いだよ
シュートはシュートでもおいらのシュートはキーパーのとれない満月シュートだよ♪
- ♪土佐高(中)ハンドのおいらの恋は恋は恋でもカップ獲って来いだよ
カップはカップでもおいらのカップは誰にも獲れない優勝カップだよ♪

動運営をしました。特に向陽祭実行委員会の生徒達と一緒に準備を遅くまでやり無事にやりとげたことは忘れられません。「何事も準備なくして成功はない」木造校舎、前校舎、現在の校舎と二回も引越しました。

現在の立派な校舎ではハンドボールが出来る五〇mの体育館を建てていただき感謝しております。

主張の違いを踏まえた幅広い視野を持つ人材を育てることが教育の眼目(寛容に出会った子供は忍耐をおぼえる)との言葉を思い出しながら土佐中・高の教員であったことを誇りにして、今まで風を起こして前向きに生きてきましたが、これからは立ち停って自然の風にごかしもらって第二の人生を過ごしていきます。最後に土佐中・高等学校ならびに同窓会がこれからも益々発展することを祈念いたします。

飲水思源

生徒達との出会いに感謝

満

(平26年11月記)



女子初のインターハイ出場選手



奉職後初のインターハイ出場選手

学校近況ご報告



学校長
山本 芳夫
(40回生)

同窓生の皆様におかれては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。又、平素は母校に対し格別のご厚情とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

一、創立百周年記念に向けて

土佐校の創立記念日は1920年(大正9年)でありますので、今から6年後の東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年(平成32年)に創立百周年を迎えることとなります。そこで、このメモリアルイベントに向けた動きが既に始まっており、その第一歩として、「百周年に向けて土佐中高のあるべき姿」を検討していただく「第二次百年委員会」が理事長の諮問機関として組織されました。本委員会は、高知工科大の岡村甫理事長(32回生)を委員長として同窓生13名の委員で構成されており、その答申が今年度を目処に出される予定と伺っております。本答申を受け、学校として取り組むべき具体的施策や記念事業の検討を進めてまいりたいと考えております。

これに関連して、今後同窓生の皆様には色々なお願いを申し上げることがあると思いますが、その節はどうかご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。その一つとして、ホームカミングデーのご案内の中に「百年史制作のための資料ご提供のお願い」を同封しましたが、早速、何人かの方から貴重な資料や物品をご提供いただきました。有難うございました。引き続き多くの皆様のご協力をお願い致します。

尚、今年度は創立94周年となりますが、11月18日の創

立記念日には恒例により代表教員・生徒による川崎・宇田ご両家への募参を予定しております。

二、第67回運動会など学校行事について

秋分の日(9月23日)。高三生(90回生)が創意を凝らし制作した櫓が立ち並び、今や初秋の風物詩となった運動会が、爽やか秋空の下で3000名を優に超える来場者を迎え、盛大に行われました。長い歴史の中で練り上げられたスピーディーに展開される各種競技・演目の数々とそれに直向きに取り組む生徒達の姿は、多くの観衆の感動を呼びました。そして、何よりも、協力一致でやり遂げた全土佐中高生の心に、なかならず最終学年生の胸深くに、忘れがたい思い出として刻み込まれたものと思います。この日を境に、高三生はいよいよ大学受験に向け最終段階に入っております。既卒生を含め受験生全員の志望が叶うことをひたすら願うものであります。

尚、これからの主な学校行事は、11月が高一生の修学旅行、年が明けた1月が高校卒業式、2月は向陽祭、中二生のスキー研修(新潟・越後湯沢)、そして3月の中学卒業式と続きます。

三、「より高いレベルでの文武両道の達成」を目指して

今年度の大学入試成績は、前年度と比べ、新卒者(89回生)については現役合格率や国立合格者数が大幅に上昇し、更には国立医学部医学科合格者も増加するなど好成績を残した反面、いわゆる難関大学(中でも東大・京大)において苦戦となりました。

一方、既卒生は総じて堅調な成績でありました。詳しくは、次頁の平成26年度入試総括をご覧ください。また、各クラブも各種大会で健闘をしております。その活躍振りについては「がんばる現役生！文武両道」の頁をご参照下さい。今後とも「高いレベルでの文武両道の達成」を目指してまいります。

向寒のみぎり、同窓生の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。近況報告とさせていただきます。(平成26年10月末記)

第67回大運動会ヤグラ



Tホーム コカ・コーラ	Sホーム ふなっしー	Oホーム マイク・ワゾウスキ	Nホーム GODZILA	Kホーム バイキンマン	Hホーム オラフ(アナと雪の女王)
----------------	---------------	-------------------	-----------------	----------------	----------------------

2014年9月23日火曜日、僕は土佐校での最後の運動会を迎えた。運動会の準備、本番、本番後のヤグラ解体。すべてをやり終え感じたことは、高3になって初めて、土佐校の運動会の伝統というものがかかるのだということだった。高3になり、受験も近い中、こんなにも時間をかけ運動会に打ち込むのか。実際にやってみて、その意味、理由をしみじみと感じた。毎日ヤグラや応援団の練習をしながらも、日々の授業を大切に、受験への準備を少しずつ進めていく。そうしていくと、もちろん疲れる。疲れた中、ヤグラの作業や応援団の練習をする。そうすると、どうしても自分、自分、自分のことしか気が回らなくなる。そんな中、いかに周りの人を見られるか、それが一番大事な事なのかなど僕は感じた。受験に合格するためには、もちろん勉強が第一だと思う。しかし、大学を出て社会で上手くやっていくために必要な何かを、土佐校最後の運動会は教えてくれた気がする。現高3生男子(90回生)

90回生(現高3)の「ヤグラ」のうちわは来年のホームカミングデー・運動会で配布されます。

●合格の状況●

国立大学	現	過	計	進学
北海道大	5	1	6	3
筑波大	2	2	4	4
埼玉大	1	1	2	2
宇都宮大		1	1	
東京大	1	4	5	5
東京医科歯科大	1	2	3	3
東京外国語大	1		1	1
東京学芸大	2		2	2
東京芸術大	1		1	1
東京工業大	3		3	3
東京海洋大	1		1	1
東京農工大	1		1	1
お茶の水女子大	1		1	1
一橋大	2	1	3	3
横浜国立大	4	3	7	7
新潟大	1		1	1
山梨大		2	2	2
金沢大	1		1	1
静岡大	1		1	1
名古屋大	1	2	3	3
滋賀大	1	1	2	2
京都大	1	6	7	7
京都工芸繊維大		1	1	1
大阪大	1	6	7	7
神戸大	6	2	8	7
岡山大	16	5	21	18
広島大	5		5	5
山口大		1	1	
徳島大	3	8	11	9
香川大	4	4	8	8
愛媛大	8	4	12	11
高知大	21	11	32	26
九州大	3	2	5	5
長崎大	1		1	
宮崎大	1	1	2	2
計	101	71	172	153
昨 年	80	59	139	110

公立大学	現	過	計	計
国際教養大		1	1	
高崎経済大	1		1	1
首都大学東京	5		5	4
横浜市大	1		1	1
静岡県立大	1		1	1
名古屋市立大	2		2	2
大阪市立大	2	2	4	4
大阪府立大	2		2	2
神戸市外国語大		2	2	2
兵庫県立大	1	1	2	2
岡山県立大	1		1	1
香川保健医療大		1	1	1
高知県立大		4	4	4
高知工科大	1	1	2	2
下関市立大		1	1	
計	18	12	30	27
昨 年	15	8	23	21

私立大学	現	過	計	進学
酪農学園大		1	1	1
自治医科大	1		1	1
日本薬科大		1	1	
獨協大	1	1	2	1
文教大	1		1	
千葉科学大		1	1	
青山学院大	5	5	10	4
大妻女子大	1		1	1
学習院大	1	2	3	
北里大	1	5	6	4
杏林大		1	1	
国立音楽大	1		1	
慶應義塾大	9	10	19	4
國學院大	1	1	2	
国際基督教大	2		2	2
国士館大		1	1	1
駒澤大		5	5	1
芝浦工業大	1		1	
順天堂大	1		1	
上智大	2	2	2	2
昭和女子大	1		1	1
成蹊大	1	1	2	1
成城大	4	1	5	1
聖路加看護大		1	1	1
専修大	2	1	3	
中央大	10	16	26	4
津田塾大	1	1	2	1
帝京大	1		1	
東海大		5	5	1
東京医科大		1	1	
東京家政大	1	1	2	2
東京女子大	2		2	
東京農業大		4	4	
東京薬科大	1		1	
東京理科大	6	7	13	
東邦大		1	1	
東洋大	2	1	3	1
日本大	1	3	4	2
日本医科大		1	1	1
日本歯科大	1	1	2	2
日本女子大		1	1	1
法政大	7	10	17	4
星薬科大		2	2	1
武蔵大	5		5	1
東京都市大	1		1	
武蔵野美術大	6		6	2
明治大	14	13	27	6
明治学院大	1	2	3	1
立教大	6	6	12	3
早稲田大	17	16	33	12
神奈川大	1		1	1
横浜薬科大		1	1	

私立大学	現	過	計	進学
金沢工業大	1		1	
愛知工業大	1		1	
中京大	5		5	
藤田保健衛生大		1	1	
南山大	1	1	2	
名城大	1		1	1
京都外国語大	1		1	
京都産業大	3	4	7	
京都薬科大	2	4	6	2
同志社大	16	23	39	5
同志社女子大	3		3	2
立命館大	46	25	71	8
龍谷大	14	9	23	5
大阪医科大		1	1	1
大阪経済大	1		1	
大阪工業大	2		2	2
大阪薬科大	2	1	3	2
関西大	13	5	18	3
関西医科大		1	1	
関西外国語大	1		1	1
近畿大	4	21	25	2
摂南大	1		1	
関西学院大	30	9	39	15
甲南大	2	1	3	1
甲南女子大	1		1	
神戸学院大	4	2	6	
神戸女学院大	1	1	2	
神戸薬科大	2	6	8	3
関西福祉大	1		1	
神戸親和女子大		1	1	
神戸松蔭女子大		1	1	
兵庫医科大		1	1	
岡山理科大	2	1	3	1
広島工業大	3		3	1
日本赤十字広島看護大	2		2	
四国大		1	1	
松山大	6	1	7	2
徳島文理大	3	1	4	1
計	295	253	548	130
昨 年	277	290	567	140

就職	現	過	計
短大	1	1	1
専門学校	2		2
海上保安学校		1	1
防衛大	1		1
防衛医科大		1	1

進路部長 岡松 宏明 (51回生)



平成26年度入試総括

本年度の入試結果を報告します。今年度の卒業生の臨んだ入試の成果として国公立大での健闘をまずあげます。例年、本校からの国公立大合格者は100名前後、昨年・昨年は100名に届かず残念に思っていました。今年度は国公立大119名と堅実に増加しました。センター試験を国公立型で受験した生徒が

24名ですから半数以上が合格を決めたという計算になります。気を抜かず3月まできちんと学習した努力と、主任の先生方のきめ細かな指導の成果と思います。3月に届く「受験生からのメッセージ」には「最後まであきらめず」という言葉が例年以上に多いと感じました。一方、成績上位者が医学部や北大・東工といった大学を指向したせいもあり東大・京大の現役合格者はさびしい結果でした。その分既卒生が頑張ったのですが、残った課題として来年度に繋げる決意です。

私立大は早・慶で50名、MARCHで90名超が合格と人気が高さがわかります。関西では関関同立が150名超、同志社以外は高知で受験可能なので多数の合格者が毎年出ます。医学部は国公立大の合格者が27名、現役では一般入試合格者が推薦・AO入試での現役合格者数を上回りました。ここ数年沸騰している医学部人気の中で立派な結果だと思えます。

2016年度から東大・京大で推薦・AO入試が始まります。東大の出願資格は「特定の学問分野に対する強い関心を持つ者」とされ、入学後は大学院の授業も受講可能です。京大も医学部で飛び級を実施するなど、日本の研究分野を牽引する人材を集めたいという姿勢が見えます。いま世界の大学では優秀な人材の獲得競争が激化しており、東大・京大といえども人材確保に危機感を背景とした入試改革といえます。

また早ければ2019年度から実施となるセンター試験に代わる「達成度テスト」が計画中です。結果は段階的なランクで発表され1点刻みのセンター試験とは大きく変わります。また各大学の個別入試は筆記中心から、多面的・総合的に評価する内容へと変化を求められています。本校としてはこの流れも踏まえ今更以上に、学がことに意欲的で、また高度な知識と深い思考力を伴う学習をめざし努力する決意です。

全国大会に出場した運動部

●高校インターハイ

- 【団体】 登山部、ハンドボール部（男子）
- 【個人】 陸上部：澤田隆成
水泳部：梶原一輝
テニス部：大原優作
自転車：西川亮太郎

●中学校大会

- 水泳部：高橋知希・大塚咲希歩
- サッカー部

高校県体

- 【団体】 優勝 登山（6年連続18回目）
ハンドボール（男子、2年ぶり27回目）
水泳（男子、4年連続7回目）
2位 テニス（男子）、テニス（女子）、ソフトテニス（男子）
3位 卓球（男子）、バドミントン（男子）、
ハンドボール（女子）、自転車
- 【個人】 優勝 陸上：男子800m（谷）
水泳：男子200m個人メドレー（梶原）
400m個人メドレー（松田）
800mリレー（徳弘・大原・小松・梶原）
自転車：スプリント 西川
ケイリン 西川

中学高知市体

- 【団体】 優勝 水泳（男子）、ハンドボール（女子）、野球
2位 陸上（男子）、ハンドボール（男子）、ソフトテニス（男子）
テニス（男子）、テニス（女子）、サッカー
ベスト4 バドミントン（男子）、柔道
- 【個人】 優勝 陸上：男子400m（武政）
1500m 2年（山本）
水泳：男子100m背（高橋）
200m背（高橋）
400m個人メドレー（本越）
女子50mバタフライ1年（谷脇）
柔道：73kg超級（池田）

中学県体

- 【団体】 優勝 水泳（男子：7年連続13度目）
ハンドボール（女子：初優勝）
テニス（男子：3年ぶり5度目）
テニス（女子：2年連続2度目）
- 2位 サッカー
- 3位 ハンドボール（男子）、ソフトテニス（男子）
- 【個人】 優勝 水泳：男子100m背（高橋）
200m背（高橋）
女子100mバタ（大塚）



華道部



かるた同好会



俳句同好会



ギター部

第1回土佐校芸術祭

向陽祭（文化祭）は隔年で行われており、向陽祭のない年は文化週間として文化部の発表会を行っています。昨年度の生徒会執行部は「土佐校芸術祭」として最終日の土曜の午後を一般公開しました。一般公開といっても、保護者に案内するだけというのですが、当日は運動部顧問の協力もあって一般生徒が多数見学に訪れ、たいへん賑わいました。写真はそのときの様子です。



茶道部



情報科学研究会

全国大会に出場した文化部

- 【放送部】 第38回全国高校総合文化祭
・オーディオビクチャー部門
・朗読部門
- 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト
・ラジオドキュメント部門
・テレビドキュメント部門
・創作ラジオドラマ部門
- 第31回NHK杯全国中学校放送コンテスト
・朗読部門
・ラジオ部門
- 【映画部】 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト
・テレビドラマ部門



軽音部



放送部

- 【芸芸部】 第38回全国高校総合文化祭
・散文部門
- 【俳句同好会】 第17回俳句甲子園
- 【その他】 数学甲子園2014

関東支部

副幹事長 前田憲一 (37回生)

四十年前近く前、会社のカタログを抱えて中近東をさまよった頃、飛行場で日本人らしき人を見つけるとよく「日本の方ですか?」と聞いたものだ。それだけ日本人はまだまだ。日本人だと分かるとすぐに打ち解けられた。日本では出身地が問題だ。聞かれると「高知県です、高校は土佐高校でした。」と答えることにしている。すると「そうですか、あの全力疾走で有名な土佐高校?」と聞いてくれ、こちらも気分が良くなる。相手が高知県人でなくても、たとえば四国出身というだけですぐ親しくなれるから不思議だ。それが同じ土佐高校OBとなるとそれだけで十年の知己の間柄になる。

今年もいろんな行事があった。森健会長の筆山会新年会は同窓生賀詞交歓会のようなもので、各行事・グループの紹介があり有意義だった。六月の関東支部総会では安田雅彦さんの「高知はこんなにいいとこだ!」との講演が素晴らしく、会場全体がすごい熱気で愛県(校)心が爆発したようだった。宮地貫一大先輩と佐々木泰子さんが生みの親のはちきん会(十月)も100名を超す参加者で広い会場一杯。女性も普段以上華やかで濱田知佐さんのいろんな切り口でのワイン初級講座が楽しくおしゃべりな同窓会だった。昨年二月に始まった野村京生会長の囲碁同好会は徐々に会員が増えている。願わくば将棋好きも集まり、OGの「島井咲緒里女流プロ棋士を応援

する会」をつくれなか? 九月には第18回

ハイクの会で浅間隠山・根子岳に登った。こちらは年配者に配慮し、登山をしない人はふもとを散策してください、として別ルートが用意されているのが

ありがたい。この会も同窓生のお子さんや友人などに輪が広がって今年も近年最多の34名が参加した。筆山会ゴルフコンペも小松三男さんの努力で続いていて、今年十月のコンペは第67回だったと聞く。

毎年十一月に錦糸町のホテルで羽方将之さんが会長の高知県人会大懇親会が開かれる。主要市町村・高校別にテーブルが用意されそこに集まるのだが、土佐高のテーブルには毎年もつと集まっていい。高知の食材たっぷりいろいろなショーもあり楽しい会だ。

同窓生にとって楽しく役に立つ同窓会にするために、まずみんなが集まりやすく楽しめる場づくりを心掛けたい。最近では海外勤務歴を持つ卒業生が増えている。同窓会組織が更



第17回はちきん会 (2014.10.4)

に大きくなり、前号の黄川久美子さんの初夢、海外で同窓会支部が出来るのも夢ではない。第1号は上海かシンガポールか、はて又ニューヨークかロンドンか、楽しみだ。

東海支部

幹事長代理 山崎博司 (44回生)

同窓生の皆様、こんにちは。この会報が発行される頃は、東海地方の平野部でも紅葉真っ盛りの季節かと思えます。

東海支部では本年五月二十四日に名古屋駅近くのホテルにて総会を開催しました。総会には、母校から山本校長先生、同窓会本部から岡内会長、矢野副幹事長、また、各支部からも役員の方々に遠路、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

本年の総会では、これまで十年間以上にわたって支部長としてご尽力いただいた久保地支部長(33回生)が顧問に就任し、新たに前田支部長(38回生)を選任しました。

また、一二月一四日には冬期懇親会を開催する予定ですが、総会と冬期懇親会が東海支部の主な年間行事となっております。東海地方の大学へ入学された方や転勤された方は是非ご参加ください。

ところで、東海地方は、自動車や宇宙航空関連産業などが集積する「ものづくり」の地域でもあり、愛知県の製造品出荷額等は一九七七年以降三七年連続全国一位を記録しています。

J R東海の超電導リニア方式による中央新

幹線事業は、本年一〇月に工事実施計画が認可され、「東京(名古屋)間(所要時間四十分)二〇二七年開業(大阪までの全線開業は二〇四五年)を目指して来年から総工費九兆円の巨大プロジェクトの工事が本格化する見込みです。

また、国産初の小型ジェット旅客機「MRJ(三菱リージョナルジェット)」はこれまで三度、開発計画が延期されてきましたが、本年一〇月に試験飛行用の初号機の機体が愛知県内の工場において公開され、来年春に初飛行、二〇一七年に機体初納入の計画となっています。

さらに、トヨタ自動車は、水素ステーションの整備されている大都市圏を中心として燃料電池車(FCEV)を本年末に市販開始(価格は七〇〇万円程度)する予定です。機会がありましたら、東海地方にも是非お越しください。

最後に私事ながら、母校を卒業して46年、そして来年からは「団塊の世代」に続き高齢者の区分入り。恐るべし、時空の流れ。



関西支部

事務局長 藤原由親 (65回生)

同窓会の皆様、こんにちは。今年度から事務局長を拝命いたしました65回生の藤原と申します。よろしくお願ひいたします。

さて、関西支部では来年度の総会を京都で行うこととなりました。現在その準備を進めております。一昨年度の総会は京都八坂神社の門前茶屋「ぎをん 二軒茶屋中村楼」さんで開催させていただきました。小雨模様にもかかわらず九〇名を超す方々にご参加いただき、お陰様でご好評をいただきました。今回はその第二弾を企画することになった次第です。来年度の総会は京都五条大橋のもとにある「料理旅館 鶴清(つるせ)」さんでの開催です。鴨



鴨川沿いにたたずむ鶴清

川の清流に影を写す木造三階建て・檜造りの壮大な楼閣は京都のたたずまいそのものです。五月から九月にかけては京の夏の風物詩、鴨川納涼床も楽しむことができ、収容人数二〇〇名を誇る日本最大級の「床」が組み立てられます。そんな京都風情溢れるなかでいただくお料理はもちろん京懐石。四季折々の旬の材料を十二分に生かした味と彩りをお楽しみください。

すっかりお店の宣伝のようになってしまうかもしれませんが(笑)、京都観光を兼ね是非ご参加いただければ幸いです。開催は平成27年4月12日(日)の昼間です。詳細は後日同窓会ホームページにてご案内いたします。ご参考までに付近の観光スポットをご紹介します。

●清水寺 「清水の舞台から飛び降りる」の語源となった本堂の舞台や、音羽の滝などが特に有名です。緑深い境内には一五もの堂塔(いづれも重要文化財)が建ち並びます。ユネスコ世界文化遺産。

●祇園 祇園の中心を南北に通るメインストリート、花見小路通の散策がお勧めです。四条通より南は由緒ある茶屋や料理屋が立ち並び、京都ならではの風情を味わえます。南は京都最古の禪寺、建仁寺に通じます。

●三十三間堂 新春の京の風物詩、「通し矢」が行われることでも有名です。お堂正面の柱間が33あることから三十三間堂と呼ばれています。堂内の一〇〇〇体の観音像は圧巻です。

それでは、皆様のご参加を心よりお待ちしております!

広島支部

事務局長 大谷準一 (51回生)

広島支部事務局長の大谷準一です。今年、広島は八月二十日の大雨により、安佐北区、安佐南区で多数の土石流が発生し、74名の尊い生命が失われました。まだ復旧は途中で、今も大雨

が降るたびに避難をされている方も多数います。ただ、広島支部の会員には被害に遭われた方がいなかったことは幸いでした。また、直後は沢山の先輩諸氏からお電話をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

この一年の広島支部の活動ですが、昨年十一月九日に広島アンデルセンで広島支部総会を行いました。来賓として学校から山本校長先生、関東支部から森支部長、幸徳ご夫妻、東海支部から利岡様、関西支部から山下様、香川支部から上池様にご参加いただきました。また、関東支部の森支部長に講演をお願いいたしました。

他支部へは、四月の関西支部に山本紳幹事(55回生)、五月の東海支部には森澤範康幹事(50回生)、六月の関東支部には大谷準一(51回生)、七月の香川支部には沖田道子支部長(41回生)、八月の本部には門田佳代幹事(49回生)、大谷準一(51回生)が参加いたしました。本年度の広島支部総会は十一月二十九日に広島アンデルセンで行います。講師は門田隆将氏にお願いいたします。楽しい話が聞けるのではないかと期待してやみません。翌日には他支



昨年の広島支部総会

部の方々とのゴルフコンペも予定しております。

広島支部内での行事としましては一月に新年会、八月にビアガーデン、九月に広島支部総会の案内状の配布を行いました。特に八月のビアガーデンでは朝からずっと雨で開催が危ぶまれておりましたが、予定していた人誰一人欠けることなく、雨の中、テントの下で行いました。さすが土佐人!!

広島支部総会があと一ヶ月に迫りました。そろそろ総会用のプログラム作りを行う予定です。ついこの前、昨年のプログラムを作成したような……この歳になると一年がだんだんと早くなっています。皆様もお体ご自愛ください。最後になりましたが、今後とも広島支部をよろしく願ひいたします。

香川支部

事務局長 野村喜久 (54 回生)

同窓会の皆様、こんにちは。香川支部事務局の野村です。

県内の至るところにうどんの製麺所とうどん屋がある香川県は、人口十万人当たりの消費量が全国ダントツ一位でして、自他ともに認めるうどん王国です。今年は、なんと食べ残しのうどんから、ご当地エネルギーをつくろうという「うどん発電」なるものが高松市で登場し、話題? となりました。うどんの底力、恐るべしです。そんなうどん一色のうどん県、讃岐香川より、香川支部の近況を報告させていただきます。

香川支部では、毎年恒例、七夕総会と名付けられた総会・懇親会を、今年も7月5日に、J.R 高松駅前の高松シンボルタワーにて盛大に開催いたしました。ご来賓として、山本



元気にエールをさる大黒英男支部長 (46回生)

学校長をはじめ、同窓会本部から副内会長、斉藤副会長、さらに各支部からは、森支部長(関東)、西森常任幹事(関東)、山崎幹事長代理(東海)、藤原事務局長(関西)、沖田支部長(広島)をお迎えし、瀬戸内海に広がる島々と夕焼けを眺めながら、香川支部会員との年に一度の七夕の夜を満喫いたしました。

総会では、支部役員の改選ならびに会計報告が行われた後、山本校長から、今年五月に土佐中高校生が唱歌「故郷」4番の一節を作詞するプロジェクトに参加したのご報告があり、テレビ放送の模様をDVDで視聴しました。「故郷」完成から100年。時を経て、学生たちの目に映る故郷高知は随分変化し、時代も環境も変わった中であつたという間に、土佐高らしいユニークで今風の歌詞が印象的でした。

総会後の懇親会では、土佐の冷酒を片手にうろうろ歩き回りながら、学生時代の昔話や今の近況に花を咲かせ、あつという間に肩を組んで校歌斉唱へ突入する……というように、いつもながらの盛大な大宴会となりました。

香川支部は、高知そして母校に一番近い身近な支部。うどんを食しながら瀬戸内海に浮かぶ島々を旅する方も口コミで増えています。来年度の総会・懇親会は、第一土曜日である7月4日に開催する予定です。で、機会があれば、うどん県・讃岐香川へぜひお越しください。

北海道支部

支部長 和田健夫 (44 回生)



来たれ、北の大地へ!! 北海道支部の和田です。ご無沙汰しております。

支部だよりをお届けします。今年も日本列島は、1月の本州の大雪、夏場の電(東京三鷹市)、中国・四国地方を襲った集中豪雨による土砂災害、そして御嶽山噴火事故など、天変地異に見舞われました。被害に遭われた方に心よりお悔やみ申し上げます。

北海道では昨年より10日早く10月28日の初雪が降りました。外は冬の様相。「冬タイヤ・冬靴」が気になる季節を迎えています。北海道日本ハムファイターズは、残念ながら日本シリーズに届きませんでした。

今年度の支部総会・懇親会が、9月20日に札幌のホテルで行われました。来賓に山本芳夫校長先生、宮地貴嗣本部副幹事長、前田憲一関東支部副幹事長をお迎えし、北海道支部からは12名が参加しました。新人として北海道大学の学生高岡正周さん(88回生)、石川多香さん(68回生)の二人のお子様、秀香さんと大智くんの出席も得て、賑やかで楽しい会となりました。今回役員改選はありませんでした。山本先生からは、母校の活躍の様子、来る創立百周年に

向けての準備の様子を伺い大変心強く感じました。

近年、北海道のブランド・イメージが国内外ともに強まっています。食・自然・観光の際だった特徴が人々を惹きつけているのです。昨年の北海道を訪れた外国人観光客は100万人を突破しました。また、民間の研究所が毎年行っている日本の都市の魅力度ランキングで、昨年は北海道の4都市(函館、札幌、小樽、富良野)がベストテン入りし(それぞれ1、2、4、6位)、都道府県別のランクでは北海道が1位でした。北海道は、実は高知県と縁の深い土地なのです。明治時代、高知県から多くの人が入植しました。そのなかには坂本龍馬の子孫・坂本家の人々も含まれております。よさこい踊りは、北海道に伝播し、「ソーラン節」と融合した「YOSAKOIソーラン」踊りを披露する祭りは、今や北海道の一大イベントになっています。OB・OGの皆様には是非、北海道に来て頂きたく思います。また、北海道には、北海道大学を始め、非常に特徴のある6つの国立大学(小樽商科大学、北海道教育大学、室蘭工業大学、北見工業大学、旭川医科大学、帯広畜産大学)があります。あの龍馬も憧れた北の大地・北海道のもつ一種の異文化ともいえるべき環境は、広い視野と行動力を育む土地だと思えます。皆様のご子弟にも是非北海道の大学で学ぶことを勧めたいだけには幸いです。

「教職員向陽会」はじめました。



北川 力(70回生)

同窓生の皆さんこんにちは。70回生、北川力です。教育に携わる卒業生の集まり「教職員向陽会」を今年八月、初めて開催しました。第一回目となる今回は、高知県内の公立私立の中学校、高等学校、大学、予備校から15名の卒業生が参加してくださいました。「土佐高等学校卒業生」、「教育関係者」というふたつの共通項を持ち合わせた者同士、年齢の違いを超えてすぐに打ち解け教育の話で大いに盛り上がりました。

本会の目的は、教育に携わる卒業生の親睦と発展です。活発に人と情報が行き交うことで、互いに刺激をし合い、応援をし合える。そんな会にしていきたいと考えております。今後さらに県内外、様々な教育機関の方々のご参加をお待ちしております。

興味を持たれた方はchicara@mbk.ocn.ne.jp(70回生 北川力)までご連絡ください。あと、土佐女子高等学校教諭の島内朝康先生(65回生)、松山幸先生(61回生)との出会いがなければ本会は実現できませんでした。深く感謝致します。

先輩・後輩交流会に 運営委員会が出来ました!

利岡 幸信(83回生)

卒業生の皆様こんにちは。83回生、利岡幸信です。高知県内在住の同窓生を中心とした同窓会「土佐高等学校先輩・後輩交流会」が11月20日に開催されました。一部の若手を中心に行われていた“いつもの”集まりが、今では高知県内の土佐校出身者100名以上が集まる交流の場となりました。交流会も8回目となり、“いつもの”集まりの良さを残しつつ、今後さらに卒業生の交流、発展の場として継続開催していくために、今年からは運営委員会を組織しました。今のところ卒業生を講師としてお招きするという形式ではなく“高知支部?”らしい『飲みにケーション』で縦のつながり、横のつながりを広げるお手伝いが出来ればと考えています。

2020年東京五輪の年は土佐校創立100周年になります。100年の年月は想像し難いですが、全国各地で先輩後輩が一同に集まる場に100年が存在するようにも思えます。卒業生の皆様、今後も先輩後輩交流会開催の日に高知にいらっしやれば“いつもの”ようにお越しいただけると幸いです。



各回生幹事の皆様へ

同窓会事務局は全国の同窓生に年2回(7月上旬:ホームカミングデーの案内と、11月下旬:会報誌「向陽」)を送付しています。この郵送物と一緒に、**各回生の企画する同窓会の案内(予告等)を同封することも出来ます。**郵送料の節約にもなり、封入作業時に他のOBOGとの交流も深まります!

- ① 事前にお問い合わせください。(送付の1ヶ月前)
- ② 封入作業にご参加ください。(学校会議室で行います)
- ③ 原稿を送付人数分ご用意ください。

<お問い合わせ先>

TEL 088-833-4394 (土佐中高・千頭 裕 58回生)
 メール y.chikami@tosa.ed.jp (千頭 裕 58回生)
 himiko131@yahoo.co.jp (北村恵美子 47回生)

編集後記

今年には自然には抗えないと痛感させられた年となりました。先には良いことが待っていてほしいものです。それよりも、平穏で無事な日々が続いてほしいと、遺暦を前にして思うこの頃です。おかげさまで、今秋も「向陽」を発行することが出来ました。ありがとうございます。ご意見・ご感想を事務局までお寄せ下さい。

田所智子(49回生)

来年5月予定

2015年 会員名簿調査のご案内

来年は創立95周年を迎えるわが母校。記念事業の一環として、恒例の同窓会会員名簿を来年11月に発行する予定です。より精度の高い名簿を会員の皆様へお届けするために名簿調査にご協力を宜しくお願い致します。

それに先立ち、クラス幹事さんには、宛先不明者リストを送付致しますので、調査のほどを宜しくお願い致します。

創立95周年記念名簿作成委員会

母校／同窓会本部／各支部

- 土佐中学・高等学校 事務 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10
 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosa.ed.jp/index.html
- 土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10
 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosaobog.com/
- 同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305
 (TEL) 011-756-2817 (FAX) 011-756-2817 (E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp
- 同窓会関東支部 事務局長 二宮深 〒100-8222 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング森・濱田・松本法律事務所 弁護士市川直介気付
 (TEL) 03-5223-7719 (FAX) 03-5223-7619 (E-mail) naosuke.ichikawa@mhmjapan.com (HP) http://www.tosako-kanto.org/ (E-mail) kininomiya@ykh.chiyoda.co.jp / ninomiya@iris.ocn.ne.jp
- 同窓会東海支部 事務局長 瀬沼憲司 〒455-0064 名古屋市中区本宮町6-7-5 フォレスト本宮201
 (TEL) 052-837-5834 (FAX) ナシ (E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp (HP) http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/
- 同窓会関西支部 幹事長 原田和人 〒662-0015 兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-67-205 原田方
 (TEL) 090-1073-7822 (FAX) ナシ (E-mail) harada73@hotmail.com
- 同窓会広島支部 事務局長 大谷準一 〒734-0007 広島県広島市南区皆実町6-3-26-902
 (TEL) 082-253-5759 (FAX) 082-254-7523 (E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp (HP) http://www.geocities.jp/hiroshimashibu/
- 同窓会香川支部 事務局長 野村喜久(担当=福原俊介) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株)
 (TEL) 090-7780-3722 (FAX) ナシ (E-mail) hukuhara14443@yonden.co.jp